

■ 9月定例会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第3号)	基金積立金 モーターボート競走事業収益基金積立金 60億円		
	道路交通安全対策事業費 市道宮成町坂本前田1号線改良事業費 625万4千円		
	一般管理費 福祉医療システム改修委託料 741万4千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費軽減対策支援金 84万9千円		
	大塚地区保育園低年齢児保育拡充事業費 大塚西保育園臨時保育室等改修工事費 1,760万円	60億8,855 万円	559億5,810 万円
	大塚地区保育園建設準備工事費 土壤分析等委託料 840万円 78万6千円		
	児童遊園地等施設管理費 用地購入費 △1,885万8千円 不動産鑑定手数料 △20万円 油井児童遊園地一部撤去工事費 510万円		
	道路新設改良事業費 市道鹿島東山8号線改良事業費 620万8千円		
	防災行政無線・MCA無線等管理運営事業費 全国瞬時警報システム更新委託料 484万円		
	施設維持管理費 用地購入費 4,987万8千円 不動産鑑定手数料 27万9千円		
後期高齢者 医療事業 特別会計 (第1号)	一般管理費 後期高齢者医療システム改修委託料 297万円	297万円	28億3,607 万円

答 いて伺う。

答 就学前の子どもがいる家庭に研修を受けた地域の子育て経験者であるホームビジターが、週に1回2時間、月に4回程度訪問をして保護者と話したり、一緒に家事や外出等をする家庭訪問型子育て支援ボランティアです。

イアの仕組みである。令和6年5月から8月にかけてホームビジターの養成を行い、9月より訪問事業を開始している。

●農林水產業費
水産業新事業創出実証
事業負担金

欲の向上につなげることを目的としている。

る、IT技術を活用した力
を養成の実証事業である。

TGC会場及びライブ配信の現徳者数は延べ500万人

答 2584万6557円
の内訳は、種苗代・養殖か
ご・消耗品で約780万円
で、一ヶ月分の通信費

外分機セン外通信機
築の経費等で約360万円
力キ養殖の技術提供業者へ
の委託費で約1340万円
年業を行なう漁師等の経費等

答問 約100万円となつてゐる。実績について伺う。三谷海域に竹島海域を

加えた2か所において、種苗を投入した。6年度事業を通じてカキを出荷サイズ

まで生育させることができ
蒲郡の海域にてカキ養殖が
十分可能であることが実証
されたと認識をしている。

●商工費 地場産業活性化事業費

東京ガールズコレクションに出演した実績と効果について伺う。

地場産業活性化事業費

が制作したアパレル製品を発表し、特に若年層に対して、本市の魅力や、繊維産業の価値を訴求する機会が得られた。令和6年9月の答

化率は7年1月1日現在、67%であり、前年から1・2%上昇している。

問 令和6年度の実績や耐震化率はどういう変化しているのか。

民間木造住宅耐震改修費 補助金

問 令和6年度の実績や耐震化率はどのように変化しているのか。

答 木造住宅の無料耐震診断が238件、耐震改修の補助が38件であった。耐震化率は7年1月1日現在、67%であり、前年から1・2%上昇している。

問 耐震化事業の取組において周知活動はどのようにしているのか。